

視察概要

- 1 日時 平成 24 年 4 月 17 日（火）午後 6 時 30 分から
平成 24 年 4 月 19 日（木）午後 7 時 45 分まで
- 2 場所 岩手県下閉伊郡山田町及び大槌町
- 3 参加者 市民 47 名
田辺市長、井上副議長、環境局長ほか 13 名
- 4 日程 裏面「視察スケジュール」のとおり
- 5 内容
 - (1) 静岡市役所出発前
放射線量率測定機器の使用方法的説明とともに、静岡市役所玄関前の空間放射線量率を測定
空間放射線量率：0.08 μ Sv/h
 - (2) 山田町中央公民館での説明
災害廃棄物仮置場の廃棄物量が減っていることが実感できなければ、復興を感じられない。
仮置場は、町の観光拠点であった。町の経済は観光で成り立っており、一刻も早い復興を望んでいる。
被災地内での処理について、仮設焼却炉の設置や木材チップへの加工など最大限の努力はしているが、その処理は追いつかない。
放射能に関する心配はもっともだと感じているが、二重三重の測定を実施することで、確認、安心をしてもらいたい。
 - (3) 山田町仮置場視察
仮置場敷地内をバス車窓から視察し、破碎・選別プラントを見学
受入れを予定している破碎チップの視察において、周辺空間放射線量率及び破碎チップの表面放射線量率を、参加者自ら測定を実施
空間放射線量率：0.03～0.07 μ Sv/h
表面放射線量率：0.03～0.04 μ Sv/h
 - (4) 大槌町仮置場視察（車窓から）
大槌町内の仮置場視察と合わせ、走行中のバス車窓から被災地の状況を視察